

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
12月定例会 議案等審議結果一覧	4
委員会報告	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



一斉にスタートする第1区小学生選手 第12回那須烏山市駅伝競走大会(平成30年1月14日)


12月定例会が11月30日(木)に
招集され、12月7日(木)までの
8日間の会期で行われました。
提出された議案等の審議の結果は
4ページに掲載しています。
議決された議案の内容など、
詳しくは「広報なすからすやま第148号」をご覧ください。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

4 3 2 1
鳥山城築城600年祭の予定
空地、空き家対策について
関する進捗状況について
づく公共施設の統合・再編に
づく公共施設等総合管理計画に基
まちづくり」について
市民と向き合う「全員参加の



滝口 貴史 議員

6 5 4 3 2 1
中学生の修学旅行先について
教育行政について
策を伺いたい
少子高齢化が続く中、歯止め
国県からの支援策について
予算の縮減策と、財源確保策
について
副市長、教育長の人選につい



中山 五男 議員

1
川俣純子市長1期目の市政運
営について



相馬 正典 議員

2 1
交通安全対策について
市における不要公共施設につ



田島 信一 議員

4 3 2 1
基金の運用状況について
災害対策と水道事業について
生ごみの「たい肥化」につい
て
グリーン契約法(環境配慮契
約)の取組について




渋井 由放 議員

6 5 4 3 2 1
駅舎周辺整備について
国道294号の整備について
本市農商工連携対策と「道の
駅」整備検討について
市営住宅等整備検討及び定住
促進対策と「空き地・空き家」
対策について
那須烏山市中央公園整備につ
いて
市長の政治姿勢について



平塚 英教 議員

3 2 1
ジェネリック医薬品使用率向
上について
健康マイレージ制度の有効活
用について
官民協働のまちづくりで大切
なこと



小堀 道和 議員

2 1
子育て環境の充実について
認知症対策について




矢板 清枝 議員

2 1
覚悟、責任、対話による市民
のための市民参加の市政を目
指すことについて
選挙公報の7つの公約につい
て
那須烏山市男女共同参画行動
計画の進捗状況について
女性の声を受け止める拠点整
備に向けて



樋山 隆四郎 議員



望月 千登勢 議員

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容を
掲載していますので、ご覧ください。

議会の動き

平成29年10月

28日○議会だより第46号
発行

11月

6日○文教福祉常任委員
会視察研修
(7日まで 静岡県
駿東郡清水町他)

16日○議会改革調査特別
委員会 議会基本
条例検討作業部会

22日○議会運営委員会
○議員全員協議会
○議会改革調査特別
委員会

30日○12月定例会
(12月7日まで)

12月

1日○議会広報委員会
4日○各常任委員会

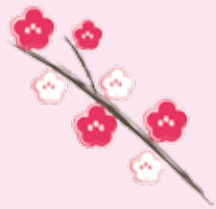
5日○行財政改革調査特
別委員会

7日○議員全員協議会
26日○議会改革調査特別
委員会 議会基本
条例検討作業部会

平成30年1月

12日○議会広報委員会
15日○議員全員協議会
○議会改革調査特別
委員会

18日○議会広報委員会



平成29年12月定例会 一般質問から

質問・答弁の内容は要約してあります。

相馬 正典 議員

川俣純子市長1期目の市政運営について

(問) 那須烏山市が誕生して12年が経過した。この間、少子高齢化や人口減少に歯止めがかからず、本市の収入源となる市税や地方交付税が段階的に減少している。こうした状況の中、今後4年間の政治決意を伺う。

(答) 厳しい財政状況が続く中で、地域の活力低下が心配される。さらなる市民の融合と和策を講じながら、市民との対話を通じた新たな視点や発想を積極的に取り入れた市政運営を図る必要性を強く感じている。

元気で活気ある那須烏山市にするために、私の政治生命をかけて「覚悟」と「責任」と「対話」による市民のための市民参加の市政運営を目指していきたい。

(問) 公共施設の整備について、中央公園にある烏山公民館、烏山体育館は老朽化が著しく、何らかの手を打つべきである。市長の見

解を伺う。

(答) 多くの市民から烏山公民館と烏山体育館、また、関連して烏山図書館については、存続を求める意見が多く寄せられた。本庁方式への移行と庁舎のあり方の調査、検証と合わせて、施設の集約化・複合化・統廃合等を図り、公共施設の適切な配置と管理に努めていきたい。

中山 五男 議員

副市長、教育長の人選について

(問) 市長選挙に掲げられた公約を果たすには、市長を補佐する副市長、教育長の役割が最も大きい。そこでこれらの人選を、再選を含めいつまでに意思決定し、議会に提案するつもりか。

(答) 人事案件であり、非常に重要なものであるため、選任にあたっては議員の皆様のご同意が得られるよう、慎重に検討していきたい。

(問) 市内小中学校7校の教職員の内、教鞭をとる先生は140名。その教職員の異動協議が間もなく始まると思う。意欲と指導力ある教員の確保を伺いたい。

(答) そのような教員をどの市町、どの学校でも望んでいる。優秀な人材を確保すべく尽力したい。

(問) 中学生の修学旅行先は奈良、京都を中心に実施している。それに広島を加え、原爆ドーム等の見学から悲惨な戦争や平和の尊さ



修学旅行で金閣寺を訪れた南那須中学校の生徒

滝口 貴史 議員

烏山城築城600年祭の予定について伺う

(問) 烏山城築城600年祭開催の計画と、那須烏山ジオパーク構想との連携について伺う。

(答) 平成30年10月14日、烏山公民館と烏山城跡を会場に、記念講演会と烏山城跡見学ツアーを実施する。サブイベントとして烏山城下町めぐり、寿亀山神社の大久保常春公木像特別公開、烏山語りの会による民話語り等を予定している。県内で同じく城をテーマとして開催された全国山城サミットin佐野を参照すると、計画の見直しの余地もあるかと思う。

複雑に入り組む丘陵地帯と那珂川の蛇行が形成する守りに有利な場所に築城さ

平塚 英教 議員

那須烏山市中央公園整備について

れた烏山城は、カルチャーサイトに分類する重要なジオサイトである。当該事業は、那須烏山ジオパーク構想を推進する上で絶好の機会であるため、これを逃すことなく取り組みたい。

(問) 事業開催にあたって、民間企業等との協力、連携を検討しているのか伺う。

(答) 民間による関連活動はあるが、行政とは連携しておらず独自で実施されている。活動団体から資料提供等の協力依頼があれば応えたいが、共同で事業を行うことは考えていない。



整備が検討される中央公園

渋井 由放 議員

生ごみの「たい肥化」について

(問) 市長は議員時代の一貫して、生ごみ減量を提議している。もし前向きに取り組むとするのであれば、大きな政策転換になるが考え方を伺う。

(答) 生ごみのたい肥化は大きな財政負担等の様々な問題がある。たい肥化の調査研究も行いながら、ごみの分別化、資源化等による減量化を推進していきたい。

(問) デイスポーターを利用した生ごみの減量化を提案したい。かつてデイスポーターは汚水処理施設に

画を基に各施設の修繕・更新等の優先順位を明確にし、利用状況・維持管理費・改修箇所等がわかる施設カレントシステムの構築し、公共施設の集約化・複合化・統廃合等による適正配置に努めたい。

市道中央2丁目鍛冶町泉町線の整備については、平成24年度に合併特例債事業で路線の測量を実施し、本年度は一部用地を取得した。今後は中央公園整備と整合性を図って進めていきたい。同路線の公共下水道整備は、平成27年度に健康管理センター付近、28年度に公民館、体育館付近を実施した。30年度以降は、武道館周辺及び中央2丁目仲町線との丁字路から南側の区間の整備を予定している。

田島 信一 議員

市における不要公共施設について

(問) 廃校となった旧興野小学校、旧境小学校の施設及び簡易水道施設等の不要施設の管理、また、解体、整備等について伺う。

(答) 未利用の市有財産は売却を基本とし、不動産鑑定評価を行った上で市ホームページに掲載している。具体的な売却希望があるまでは有償で貸し付けを行っている。

水道施設については、市内には使用していない施設が十数ヶ所あるが、平成32年度に上水道、簡易水道の事業統合を予定しており、統合後、水道施設統廃合の計画を策定する。その中で不要施設の撤去、処分及びそれに伴う補助金の手続き等を効果的に行っていく。

(問) 国道294号からJAなす南広域農機センターへ向かう市道八ヶ平猫入線は、大型車の進入が多い状況だが、幅が狭い上に側溝のふたもなく、車両がすれ違うこともできない。市の安全対策について伺う。

(答) 当該市道は農協施設へのアクセス道路となっているが、住民の生活道路である。側溝の取り換えが最善策だが、実施には財源の確保が必要であるため、実施時期等を検討していく。

望月 千登勢 議員

那須烏山市男女共同参画行動計画の進捗状況について

(問) 計画策定の進捗状況について伺う。

(答) 本年度市民2400人を対象にアンケート調査を実施した。この結果の分析をもとに、平成30～34年度にわたる男女共同参画計画の、3月の策定に向けて作業を進めている。

(問) アンケートの結果か



未利用財産の一つである旧境小学校

ら把握できた状況を伺う。
(答) 主なものとして、家事のほとんどを女性が担い、その分担任に対して女性が不満を持っていること。今後、政策・方針決定の場への女性進出が期待されていること。DV被害者の相談先のほとんどが家族や友人にとどまっており、専門機関は一部であることがわかった。

(問) 今後の『女性活躍や生きやすさ』に向けた、市の新しい取り組みを伺う。
(答) 女性活躍の実現には男性の家庭進出がポイントとなる。職場における労働時間短縮等について取り組む必要性を感じるため、企業への周知等と併せ、啓発事業を中心効果を高められるよう工夫したい。

た、選択と集中による行財政の運営」について、具体的にどのような施策を選択し、集中して行うのか伺う。
(答) 1期4年の中で優先的に取り組むことは、市役所の分庁方式から本庁方式への移行と、公共施設の集約化、複合化、統廃合である。また、民間活力を最大限に活用し、行政負担のスリム化にも取り組む。



内閣府の男女共同参画シンボルマーク
 モチーフは男女が手を取り合う様子

(問) 条例制定や都市宣言に取り組み考えはあるか。
(答) 必要性について、男女共同参画推進委員会で検討していきたい。

樋山隆四郎 議員

選挙公報の7つの公約について
(問) 公約「将来を見据えて

民間と協力して整備していきたい。
小堀道和 議員

官民協働のまちづくりで大切なこと
(問) 本市を活性化するには、官民協働の活動の活性化以外はない。そのためには市職員が市民の意欲を引き出すこと、自分たちの活動を市役所が応援している



子ども館事業「音を鳴らしてあそぼう」

(問) 公約「市民に優しい『医療・福祉』の充実」について伺う。
(答) 本市の福祉には足りないものもあるが、充実していないわけではない。子育て支援としては、保育料の多くを市が負担しており、0・2歳児には県内の状況と比較しても多くの費用負担をしている。小中学生に對しても、こども医療費の現物給付により助成している。標準的な支援に関しては、かなり進んでいるといえる。

医療に関しては、婦人科や人工透析の施設の不足を感じている。設置には費用を要するため、1、2年ではできないと認識している。ただし、充実を目指すにあたり、財源確保ができない場合には、無理なものは無理という判断もしたい。

矢板清枝 議員
子育て環境の充実について
(問) 烏山放課後児童クラブ移転後のこども館のあり方について伺う。
(答) 烏山放課後児童クラブは、平成30年度にこども

館から烏山小学校へ移転する予定であり、31年度以降、こども館内の事業は子育てサロン事業が主となる。建物の老朽化と耐震性の低さのため、将来的には解体撤去や既存施設への統合等をせざるを得ない。公共施設等総合管理計画に基づき、整備の方向性について関係課で協議、検討したい。

認知症対策について
(問) 本市の認知症サポーター養成講座修了者は何名か。また、認知症の人の地域支援体制の充実と、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのために、ステップアップ講座の開催ができないか伺う。
(答) 平成29年9月末現在、延べ4225名の市民が受けた。総人口1万人あたりの講座開催回数は、県内第2位である。本年度は、県が実施するステップアップ講座の指導者養成研修を、市職員が受講している。今後、市民を対象にステップアップ講座を開催し、講座修了者が地域の見守りや認知症カフェのスタッフ等として活躍できる体制を、

ジェネリック医薬品利用率向上について
(問) 医療費削減のために、国は2020年までに廉価なジェネリック医薬品の採用率80%の目標を掲げている。採用率県内最下位の本市の対策と、市内医療機関の取り組みを伺う。
(答) ジェネリック医薬品希望のシール配布や変更により薬代が減る旨の差額通知で普及を図っていく。那須南病院では処方薬の希望を予め確認しジェネリック医薬品を希望しない患者以外に對して、院外薬局で推奨しているとのことである。

平成29年度補正予算について
議員 債務負担行為の設定について、次年度から5年間の烏山小学校スクールバス運行業務委託に關し、バスの使用台数、ルートの決め方を伺う。
答弁 全5台のうち、4台がバス会社等の業者への業務委託で今回の債務負担行為の対象であり、1台はシルバー人材センターへの委託を予定している。ルートは学校等と協議しながら決めている。
議員 私立保育施設運営委託事業費について、詳しい説明を求めらる。
答弁 私立保育園運営の委託料が561万円、認定こども園等への給付費が4729万8千円である。
議員 母子福祉事業費の補正は、こども医療助成費の不足分であるとの説明だが、今回の補正で3月まで足りるのか。
答弁 補正額の内訳は、こども医療費410万円の他に障害者医療費44万円があり、見込額で計上しているため、今後の申請状況によっては3月の補正予算で対応する。
議員 定住促進対策事業費150万円の増額の内容について伺う。
答弁 住宅リフォーム助成金交付事業に係る補正で

ある。例年に比べて1.37倍の申請件数があるため、15件分の150万円を計上した。

が多いことによる介護扶助費、医療扶助費の増加が、補正の理由である。
議員 漏水修理という説明で配水及び給水費629万4千円が計上しているが、この予算増額で当面の漏水修理については問題ないのか。
答弁 本年度は比較的大きな漏水事案が発生しており、9月末の三箇地内での漏水では一部断水も発生した。国道等での漏水も多く、舗装復旧費用が発生する。今回はその対応分を含めて計上した。
議員 公園費の各施設整備費で泉公園、清水川せせらぎ公園にスプリング遊具を設置することだが、設置にあたってのニーズ調査の有無、遊具の選定理由を伺う。
答弁 以前設置していた遊具が壊れ、撤去した跡地に新たに設置するものである。かつてあったものを補充する考えのため、ニーズ調査はしていない。

ある。例年に比べて1.37倍の申請件数があるため、15件分の150万円を計上した。

ある。例年に比べて1.37倍の申請件数があるため、15件分の150万円を計上した。

ある。例年に比べて1.37倍の申請件数があるため、15件分の150万円を計上した。

主な質疑

12月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。



住宅リフォーム助成金を使ってリフォームした浴室(左:リフォーム前、右:リフォーム後)



新しく遊具の設置が予定される泉公園

12月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等	審議結果	議案等	審議結果
議案第8号 専決処分の承認を求めることについて(平成29年度一般会計補正予算(第3号)について)	承認	議案第5号 平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第12号 人権擁護委員候補者の推薦について	同意	議案第6号 平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第10号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	議案第7号 平成29年度水道事業会計補正予算(第2号)について	可決
議案第11号 嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	議案第13号 平成29年度農地・農業用施設災害復旧事業の施行について	可決
議案第1号 平成29年度一般会計補正予算(第4号)について	可決	議案第14号 山あげ会館の指定管理者の指定について	可決
議案第2号 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第15号 龍門ふるさと民芸館の指定管理者の指定について	可決
議案第3号 平成29年度熊田診療所特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第16号 大金駅前観光交流施設の指定管理者の指定について	可決
議案第4号 平成29年度介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	議案第9号 議会の議決すべき事件に関する条例の制定について	可決

○ 上記の他、栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、川俣市長が議員に選出されました。

※ 掲載は採決順。

※ 議案第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終的に可決されました。

12月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第3号	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情	なし	不採択

12月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
11月30日(木)	開会・報告・上程・採決・付託	12人
12月1日(金)	一般質問	29人
12月4日(月)	一般質問	12人
12月5日(火)	一般質問	13人
12月7日(木)	報告・採決・閉会	4人
計		70人

文教福祉常任委員会 研修報告

研修報告

当委員会は、昨年11月6日(7日)に静岡県への先遣地視察研修を行いました。訪問した駿東郡清水町では、教員の多忙化解消に向けた「未来の学校『夢』プロジェクト」について視察しました。同事業は静岡県教育委員会の事業で、清水町立清水中学校がモデル校として指定されています。町教育委員会の説明を受けた後、清水中学校を訪ね、校長から現場の工夫や現状について聞きました。多忙化の解消には各学校の努力だけでなく、教育委員と共に行う改善が必要であるとわかりました。

続いて視察した伊豆半島ジオパーク推進協議会では、推進の理念や日本ジオパーク認定に至るまでの活動等の説明を受けました。認定以降も様々な活動を試行錯誤しているとのこと。で、ジオパーク事業を地域に根付かせ、継続的に活動するための努力と工夫を知ることができました。



教員の多忙化解消プロジェクトモデル校の校長から話を聞く議員

委員長 田島 信二

3月定例会は、**2月27日(火)**開会予定です。
正式な日程は2月20日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議場コンサートを開催します

初開催



日時 ◆ 3月2日(金)午前9時30分から(3月定例会 第4日 本会議開会前)

場所 ◆ 市役所南那須庁舎3階 議場

内容 ◆ 烏山高等学校吹奏楽部によるサクソフォン五重奏

曲目 ◆ サクソフォン五重奏のための叙情組曲「エウロパ」

入場無料、事前申込不要です。皆様のご来場をお待ちしております。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

(TEL 0287-88-7114)

あしがき

あけましておめでとうございます。平成30年の新年を迎えお慶び申し上げます。昨年の12月1日に皇室会議が行われ、今上陛下の御譲位により平成31年4月30日をもって「平成」という元号は終了します。翌5月1日には新元号となり、皇太子殿下が即位し天皇陛下となられます。平成となつたのが30年前。一つの時代の始まりと終わりに立ち会える喜びをかみしめています。新しい元号は何かという興味もわいてきます。明治、大正、昭和、平成のローマ字表記の頭文字と重複しないものが推測はされますが、発表を楽しみに待ちたいと思います。

さて、那須烏山市でも、昨年、大谷市長から川俣市長に代わりました。初代市長の大谷氏は数多くの功績を挙げ、勇退いたしました。川俣新市長は、公約「『覚悟』と『責任』と『対話』」による市民のための市民参加の市政を目指します！」を掲げて当選いたしました。市長と議会は市政運営において車の両輪と言われます。多くの課題がある那須烏山市。我々議会は、二元代表制の原則にのっとり、是々非々の姿勢で議会に臨みたいと思います。

滝口 貴史 議員

